

# 平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 准教授 齋藤純一

取組状況	
教育	<p>1. 自らが開発・構築したeラーニングシステム”Web-J”を講義内外で活用 特に第2学年の学生を対象とした選択科目「微分積分演習」ではブレンド型の演習を主としている授業「ブレンディッド・ラーニング」を導入 個々の学生に合った計算力の向上と、個々の学生の苦手な問題把握による指導の精度向上を目標とし、演習時に伴う教員の負担軽減を狙った</p> <p>2. 専攻科における講義「応用解析学」「応用代数学」では、より高度な数学の理論かつ工学への応用を意識した内容を教授 具体的には、線形空間から内積空間、そして関数解析(特にヒルベルト空間等の関数空間)へと解説し、さらに本科で学んだフーリエ級数との関係を明らかにした上で、熱方程式や波動方程式への応用を説明した</p>
研究	<p>1. 論文 五十嵐貴, 貴田研司, 齋藤純一, 佐藤義隆, 杉江道男, 豊成敏隆, 向山一男 「四面体の6辺の長さに関する不等式(2)」日本数学教育学会高専・大学部会論文誌, to appear.</p> <p>2. 学会発表 齋藤 純一, eラーニングに関する成績管理システムについて, 日本数学教育学会(東京)大会, 東京理科大学森戸記念館, 2018年8月.</p>
社会貢献	<p>1. 日本数学教育学会における, 高専・大学部会副部長, 高専・大学部会論文誌編集委員, 選挙管理委員</p> <p>2. 平成30年度開催の第100回全国算数・数学教育研究(東京)大会(100周年記念学会)における実行委員会の副委員長, ならびに高専大学委員会の委員長を委嘱</p> <p>3. 同じく第100回全国算数・数学教育研究(東京)大会(100周年記念学会)の百周年企画委員会の副委員長を委嘱</p> <p>4. 大日本図書株式会社との, eラーニングに関する共同研究を継続して行った</p>